



### 5南有馬町船員会がボランティア清掃

3月29日、南有馬町船員会の会員19人が、西望公園内の草刈りなどの清掃活動を行いました。同会は地域貢献の一環として、3月13日と20日にも原城跡や周辺の道路清掃を実施しました。

参加者は草刈り機などで丁寧に草を刈り、公園がとてもきれいな姿になりました。ご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。



### 7文芸コンクールで優秀賞を受賞

第34回全国高等学校文芸コンクールで、本市口之津町出身の平一葉さん(福岡県筑紫女学園3年当時)の作品「響け、瀬詰の音」が、小説部門で優秀賞・読売新聞社賞を受賞しました。3月27日、大学進学を前に帰省し、市長へ報告しました。

今回、地元である本市口之津町の瀬詰太鼓をテーマに小説を執筆しました。作品を書く1カ月ほど前には、地元で取材活動を展開し、約1万2千字もの作品を手掛けました。



### 6EAT(英語指導助手)が3年間の活動を終えて帰国

平成29年4月にEAT(英語指導助手)として着任した、オリス・マリア・ジョセファさん、グティエレス・リザさん、グリサイ・アーリー・グレイスさんの3人が1期3年間の活動を終え、フィリピンに帰国するにあたり、4月9日、松本市長へ活動報告を行いました。

3人は、「南島原の皆さんが、優しく接してくれて、一生忘れることのない経験ができた。すごく感謝している。ここで学んだことをフィリピンでも生かしていきたい」などと3年間の振り返り、それぞれの思いを話しました。

帰国する3人へ向けて松本市長は、「子どもたちへの授業の支援だけでなく、地域のイベントなどにも積極的に参加していただき大変ありがたかった。帰国されても日本の文化を広げてほしい。母国でも頑張ってください」と感謝の気持ちを伝えました。

Focus in 南島原  
市内各地で行われたイベントやまちの話題をお届けします。

## まちの話題



### 1北有馬こども園が開園

4月1日、「北有馬こども園」が開園しました。この園は、地域の教育機能と保育機能を持った施設を維持するため、北有馬幼稚園と北有馬保育所が統合するかたちで、認定こども園として開園したものです。

入園児は24人で、市内では唯一の公立の認定こども園となります。

当日の入園式では、園児一人ひとりの名前が呼ばれ、元気な返事をする園児の姿があり、会場を和ませていました。

### 2原城跡のPR動画が「ふるさとCM大賞」の演技賞を受賞!

南有馬小学校をこの春卒業した6年生(現中学1年生)が、総合的な学習の時間に制作した原城跡をPRするためのCM動画が、NCC長崎文化放送主催の「第15回ふるさとCM大賞」で演技賞を受賞しました。

監督を担当した永吉杏樹さん(南有馬中1年)は、「多くの人に原城跡を訪れてほしいと思って作った。受賞の報告を受けたときは驚いたが、クラスみんなで協力して作ったのでうれしかった。誰からも大切にされる、南有馬町の誇りのように思ってもらえるような、素晴らしい原城跡になってほしい」と話しました。



### 4感染症対策にマスク5,000枚を寄附

地元企業の株式会社有馬(代表取締役 石川城剛氏)が、新型コロナウイルス感染症対策にとマスク5,000枚を市に寄附されました。4月8日、寄附に訪れた同社の関係者は、「以前から材料の仕入れなどで中国の企業との取引引きがあり、そのつながりで購入できた。市内の医療機関や福祉施設などで感染症対策に役立ててほしい」と話しました。

寄附を受け松本市長は、「これまで福祉施設や南高医師会などにマスクを提供している。市の備蓄も減ってくる状況の中、このような寄附をいただくことは大変ありがたい。感染症予防に努めていきたい」とお礼を述べました。



### 3児童の安全を守る“防犯ブザー”を寄贈

南島原市社会福祉協議会が、市内の小中学校に入学する新1年生へ赤い羽根共同募金配分金事業として、防犯ブザーを寄贈しました。

3月13日、同協議会の本田利峰会長ら3人が教育委員会を訪れ、永田教育長へ目録と防犯ブザーを手渡しました。

寄贈された防犯ブザーは、各学校で新1年生全員に配付し、防犯対策に役立てていきます。

## いつまでもお元気で

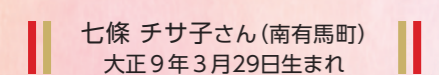
～100歳おめでとうございます～



小松 シズカさん(有家町)  
大正9年3月25日生まれ



平片 キクエさん(加津佐町)  
大正9年3月25日生まれ



七條 チサ子さん(南有馬町)  
大正9年3月29日生まれ

## 南島原タイムトリップ

～あの頃、君は若かった～



### 今月の写真

Q. さて、ここはどこでしょう?  
A. 答えは次ページの下段をご覧ください。